

oktobro 2021

La Harmonio

N-ro 248

Tutlanda Organo de Rondo Harmonia
Eldonejo : Rondo Harmonia

第 108 回日本大会で RH 分科会を開催

9 月 18 日～20 日の第 108 回日本エスペラント大会は完全オンラインで開催され、参加登録者は 350 人でした。その中で、RH 分科会を開催し、エスペラント活動発表会と合わせて、活動発表を 6 件行いました。3 頁をご覧ください。

本号の目次
は 2 ページ
にあります

広島 RH オンライン同窓会 2021

8 月 21 日に開催。19 頁をご覧ください。



第 108 回日本エスペラント大会（オンライン）の集合写真

<< 目次 >>

☆ 第 108 回日本エスペラント大会		
第 108 回日本大会と RH 分科会		3 ページ
オンラインで日本大会に参加	片山浩子	4 ページ
奈良エスペラント会の報告	竹森浩俊	6 ページ
広島エスペラントセンターの活動報告	野原エミ	8 ページ
京都での10年間の講習会	森川和徳	10 ページ
東北でのエスペラント運動体験（1979 - 2021）	今泉久典	12 ページ
愛知サマセミの経験から	山口真一	14 ページ
日本大会で流れた La vojo		16 ページ
☆ 広島 RH オンライン同窓会 2021	福井政春	19 ページ
☆ Kindle 書籍の作り方	belmonto	21 ページ
やましたとしひろさんが2021年の小坂賞を受賞		26 ページ
☆ 1968 年から 70 年代の思い出	柴山純一	27 ページ
☆ コロナ禍の私の活動	田淵八州雄	30 ページ
☆ 人名のローマ字表記について	綿貫健一郎	32 ページ
☆ コロナ禍とエスペラント	石部敦子	34 ページ
☆ Domo sur Monteto（岡の家）	Virina Klubo	36 ページ



「エスペラントの日」のポスター
(2021年7月26日)
エスペラント発表から134年
<https://uea.org/vikio/Esperantotago-2021-07-26>

第108回日本大会とRH分科会

9月18日(土)から20日(月・祝日)に広島を本部とした完全オンラインで第108回日本エスペラント大会が開催されました。大会テーマは「ヒロシマの心を世界へ」(La mondon ligas animoj de Hiroŝimo)でした。

当初は、通常どおり、現地(広島市)に参加者が集まる大会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症がおさまらないため、人が集まる大会をあきらめ、6月にオンラインで行うことが決まりました。

参加登録者は350人。うち国内から295人(不在参加46人を含む)、海外は21か国から55人でした。

今大会ではRondo Harmonia分科会を行い、6人の方々に各地の活動を発表していただきました。JEI(日本エスペラント協会)普及推進部からの提案により、6発表のうち、4発表については、「エスペラント活動発表会」という番組で行われました。



◆「エスペラント活動発表会」9/19(日)11:00~11:50、42人参加
次の発表(各自10分)を行っていただきました。(敬称略)

- ・竹森浩俊：奈良エスペラント会の報告 本号6頁参照
- ・福井政春：山陽学園での活動
(本誌247号26頁参照)
- ・野原エミ：広島エスペラントセンターの活動報告 本号8頁参照
- ・森川和徳：京都での10年間の講習会 本号10頁参照

◆「RH分科会」9/19(日)16:00~16:50、17人参加
次の発表(各自10分)を行っていただきました。(敬称略)

- ・今泉久典：東北でのE運動体験(1979-2021) 本号12頁参照
 - ・山口眞一：愛知サマセミの経験から 本号14頁参照
- 残り時間で参加者全員の自己紹介を行いました。

(編集部)

オンラインで日本大会に参加

片山 浩子 (名古屋市)

第108回日本エスペラント大会は、JEI（日本エスペラント協会）・広島エスペラント会主催で、フルオンラインにて開催されました。2年前、開催地に広島が手を挙げた時は、現地開催の予定でしたが、その直後から広がったコロナ感染は収まる気配なく、やむなくオンライン開催に変更されました。それを聞いて私は参加を決めました。交通費も宿泊費も移動時間も不要、自宅にいながら都合に合わせて参加することができるのは、オンラインならではの魅力だからです。

裏方ではいろいろご苦労があったようですが、一参加者としては見事に運営されているように思いました。昨年のハイブリッド形式の名古屋、今年のオンライン形式の広島、どちらもそれなりの良さがありました。これらの経験を経て日本大会のあり方は、今後大きく変わっていく気がしました。

平和公園内碑巡りや平和資料館見学ツアーは、今大会の目玉でもあり、現地で見たいと思っていた人が多いことと思います。しかし Zoom（ウェブ会議サービス）でもとても臨場感があり、遜色はありませんでした。あらかじめ撮影・編集したビデオを流し、エスペラントで解説していました。天候に関係なく楽しめて、見どころをおさえて無駄がなく、音声は耳元で聞こえるため、現地よりもむしろ聴きやすく、また文字情報も理解を助めました。海外からのコメントがチャット欄に数多く書き込ま



原爆ドームの前で



平和記念公園
峠三吉詩碑（にんげんをかえせ）

れ、世界と繋がっていることを実感しました。この他にもヒロシマならではの番組がたくさんあり、“ヒロシマの心を世界へ”という大会テーマは、十分伝わったと思います。



広島平和記念資料館



平和資料館見学ツアー

「RH 分科会」が今回初めて設けられ、Jitsi というアプリを使って開催されました。Zoom や Discord に慣れていれば問題はありませんでした。画面越しに何十年かぶりにお顔を拝見して、懐かしく思うとともに、皆さんが地元で活動を続けられていることを知り、嬉しくなりました。今回は同窓会のような感じでしたが、これを機に今後何らかの活動へ繋がっていくといいと思います。オンライン全国大会や理念学習会、討論会、飲み会、女子会など、できることはたくさんありそうです。



RH 分科会の様子 (Jitsi の画面)

(終)

奈良エスペラント会の報告

竹森 浩俊（奈良市）

それでは奈良エスペラント会の報告をさせていただきます。私、竹森と申します。この度はこのような発表の機会を与えて下さりありがとうございます。ありがとうございました。

奈良エスペラント会は1995年に設立されたそうです。勿論その当時は奈良エスペラント会には関わっていませんでした。私は奈良エスペラント会に関わるようになり、入会する機会となったのは2018年です。この年の10月の第2回日韓共同開催エスペラント大会があり、若干大会のお手伝いをしました。当時奈良エスペラント会の代表者は奈良から引っ越しされて引き継がれる方を探しているところでした。代表者の引き継ぎがなければ会の店じまいを考えていたようです。奇しくも私が会を引き継ぐことになりました。この時会員5名、準会員1名でした。

今後の活動を会員の皆さんと考えたとき、もし新しい方が入会されれば学習の支援する場なら月1回程度なら提供できるのでないかということになりました。会員の竹村さんさんから姪御の中西さんにエスペラント学習の勧めてもらい、藤巻さんの初級通信講座を受講してもらえる

奈良エスペラント会の活動経緯

年	月	
1995年	5月	奈良エスペラント会発足
2018年	10月	第2回日韓共同開催エスペラント大会 会員5名、準会員1名
2019年	4月	3名入会、会員8名、準会員1名 藤巻さんの初級通信講座のフォローの場として学習会を開始 月1回の学習会を奈良市西部公民館で実施
	11月	Hanako lernas Esperantonを教材に学習会開始
2020年	4月～6月	コロナ禍で公民館使用できず、学習会不可。
	12月	大阪・堺・富田林・奈良・和歌山合同 ザメンホフ祭の幹事
2021年	3月	Ĉu vi parolas Esperante? 学習開始
	8月	初心者向けにドリル式エスペラント入門を開始
	9月	1名入会、正会員9名、準会員1名

ことになりました。また、KLEG（関西エスペラント連盟）個人会員だった本田さんが入会して頂きました。本田さんからの情報で藤巻さんの初級通信講座を受講されている宮城さんが奈良に在住であることが分かりました。通信講座の学習の補てんする場として学習会を開催することになり、西部公民館使用のための手続きを行い、2019年4月より月1回の学習会の場を開きました。その場に、中西さんと宮城さんをお誘いして入会して頂きました。2020年にはコロナ禍で公民館の使用ができない時期もありましたがそれ以外は月1回の学習会を継続していきました。初級通信講座が終了した後、2019年11月から **Hanako lernas Esperanton** を教材に学習会を開始しました。2020年の12月のザメンホフ祭では大阪・堺・富田林・奈良・和歌山合同で開催しており、幹事役が奈良エスペラント会に回ってきました。皆さんのお蔭で何とか幹事の任を負うことができました。Hanako lernas Esperanton 完読の後、2021年3月から **Ĉu vi parolas Esperante?** を教材に学習会を開始しました。宮城さんの知り合いで田中さんがエスペラントの学習を希望され、8月に試しの学習会、9月に入会して頂きました。田中さんはザメンホフ祭にも参加された方です。現在、奈良エスペラント会は正会員9名、準会員1名となっています。

(終)



例会の風景



2020年12月6日 大阪・堺・富田林・奈良・和歌山 合同ザメンホフ祭（奈良にて開催）

広島エスペラントセンターの活動報告

野原 エミ (広島県安芸郡)

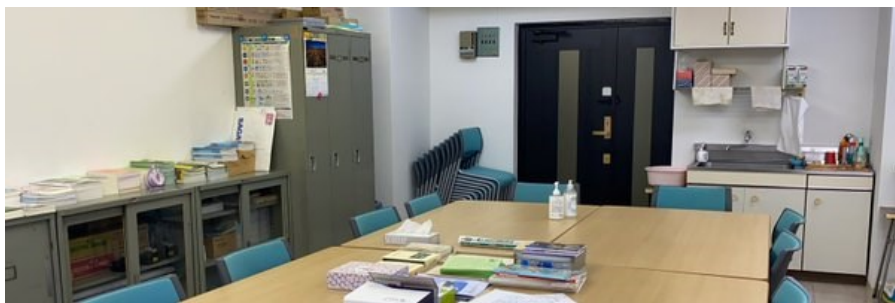
広島エスペラントセンター (Hiroshima Esperanto-Centro) での活動の報告ですが、私は2016年に広島ECに加入したのですが、それ以前の歴史について少し話させてください。その流れの中で、現在の私達の活動が有ると思うからです。

広島ECのs-ro 忍岡守隆 (おしおか もりたか) がLa Revuo Orienta誌2021年5月号に「広島のエスペラント運動史」という題で1909年、広島高等師範の中目覚 (なかのめ あきら) が広島エスペラントクラブを結成した事から始まって、今までの短くまとめた運動史を出されました。

それに対しての長崎の盛脇さんの提案で、日本大会の後に、「RHや福山、呉の事も入れた、もっと詳しい運動史」を作る事になっています。

今年8月に河元寛視さん主催のZoomによる広島RH同窓会が有り、その中で6人の代表者により、それぞれに活躍された60年代、広島高校生RH、70年代、80年代、90年代以降、現在の活動のまとめが話され、それは素晴らしい内容でしたので、そのまとめは、これから作る運動史の大きな部分を占めると思います。

1909年広島エスペラント倶楽部が結成されたのは、フランスのAlphonse Mistler が長崎に来た16年後でした。エスペラント講習会が開かれ、1927年には呉エスペラント会創立。しかし戦争で弾圧され、



広島エスペラントセンター

1945 年の原爆で壊滅状態となります。しかし 1948 年には田中貞美が活動を始め、1951 年 JEI（日本エスペラント学会）広島支部再建、翌 1952 年、広島女学院高校にエスペラントグループ結成。

1960 年代、広島大、広島女学院大の学生を中心に RH に向かう活動がはじまります。

1966 年に幟町中学校に有ったエスペラントクラブは、白血病で亡くなった佐々木禎子さんの担任、土屋哲郎が結成したと思われます。

1970 年、広島 RH が誕生。ブリガード、全国合宿など、RH 活動が活発に行なわれます。広島の高校生は、広島高校生エスペラント連合を結成、機関紙も発行され、当時作詞作曲された歌は今も歌いつがれています。

1975 年、大学生の全国組織委員会が発足、事務局が広島に置かれ、活動はピークを迎えます。1988 年から韓国との交流開始。

1984 年、忍岡夫妻が広島エスペラントセンターを開始、学生、市民は場所をそちらに移して活動するようになりました。1996 年の日本大会、2001 年の中国四国大会などの活動が今も続いています。

現在は、週例会は火曜日例会が Zoom で 7~9 名、木曜日、土曜日に山田寛人さんの講習会があり、生徒の N さん（大学生）、F さん（社会人）はこの日本大会の開会式、閉会式の司会を務めました。

2018 年には福山の鞆の浦での中国四国大会を主催。

12 月のザメンホフ祭は持ち寄りのご馳走にミニ講演などですが、2020 年は女子会の皆さんと合同で半分 Zoom も使って行なわれました。

県外、海外からのお客様も多く、2018~2020 年は、チリ、ドイツ、フランス、イスラエル、イギリス、ポーランドからのエスペランティストをお迎えしました。

RH のダベロウカイや同窓会も 2018 年からは、広島 EC で開かれています。

その他に、ホームページ、Facebook grupo の広島エスペラントセンター、ツイッターの広島エスペラントセンターがあります。

(終)

京都での10年間の講習会

森川 和徳（京都府乙訓郡）

京都エスペラント会で 10 年間、入門講座の講師を務めました。そのまとめです。

<会場>

京都エスペラント会は「貸会議室エスペラント会館」を例会場としています。この建物は、会員の相川節子さんの個人所有で、一般向けの貸会議室です。2006 年 9 月に開業し、ちょうど 15 年です。場所は京都市下京区西洞院五条上るにあり、地下鉄五条駅から徒歩 10 分のところにあります。3 階建ての細い緑色の建物です。この緑色はもちろんエスペラントのシンボル色です。4 部屋あり、エレベータも設置されています。部屋を使用する際には、京都エスペラント会も部屋代をきちんと支払っています。



<開催日>

私の都合で、会社の残業がなくても、通勤時間が片道 1 時間半かかっていたので、平日の夕方は断念しました。日曜日は休みたい。ということで土曜日にしました。午前と午後では、午前の部屋代が午後の半額なので、土曜日の午前中としました。

期間は、暖かくなる春とし、終了後は関西エスペラント大会に誘えるようにしましたので、4 月から 6 月になりました。

<宣伝>

ウェブページ、チラシ、はがき、京都新聞への掲載依頼です。最近、京都新聞に載せてもらっていますが、効果がありません。

<テキスト>

当初は La Unua Kursolibro を使用していましたが、内容が難しいの

で、誰でもついていける「ドリル式エスペラント入門」に変更しました。
ドリル式は冊子にして配布しています。

<結果>

受講者は年平均 3 人。入会者は年平均 1 人。京都エスペラント会の会員数は毎年少しずつ減っているのですが、入会者があることで、会員数は何とか現状維持ができています。2017 年から入会者が増えたのは、6 月以降に同じ時間帯の継続講座を行ったためです。

年	期間	時間	テキスト	受講生	入会者
2011	4/16～6/25 (10 回)	毎週土曜 10-12 時	La Unua Kursolibro	3 人	
2012	4/7～6/16 (10 回)	(同上)	(同上)	7 人	2 人
2013	4/6～5/18 (6 回)	(同上)	ドリル式 エスペラント 入門	3 人	
2014	4/6～5/25 (7 回)	毎週日曜 10-12 時	(同上)	1 人	
2015	夏 7/4～8/8 (6 回)	毎週土曜 10-12 時	(同上)	1 人	
2016	4/16～5/21 (6 回)	(同上)	(同上)	1 人	1 人
2017	4/8～5/20 (7 回)	(同上)	(同上)	3 人	3 人
2018	4/14～6/2 (7 回)	(同上)	(同上)	5 人	3 人
2019	4/6～5/25 (7 回)	(同上)	(同上)	1 人	1 人
2020	4/11～5/30 (8 回) オンライン	(同上)	(同上)	3 人	2 人
2021	4/3～5/29 (8 回)	(同上)	(同上)	0 人	

東北でのエスペラント運動体験(1979 - 2021)

今泉 久典 (仙台市)

私は、出身地である宮城県仙台市で地元の高校を卒業後、1979年に東北大学に入学、同大を活動拠点としていた仙台 RH に入会してエスペラントの学習を始めた。仙台 RH は、その前年秋に行われた RH の宣伝普及活動ブリガードによって誕生したが、私が入会した時は東北大学の1年上の先輩が二人いただけだった。その後、宮城教育大学、仙台電波工業高等専門学校(現仙台高等専門学校)、聖和短期大学の学生も加わり、東北地方の他県のブリガードも行った。青森県の弘前大学を拠点とした弘前 RH と共に東北地方の RH 学生 Rond としてエスペラント運動を行っていたが、1980年代後半に RH 学生 Rond 全体の退潮の流れの中で消滅した。

私は大学卒業後、1984年に就職して上京、入居した就職先の独身寮があった国立市で一橋大学の学生 Rond が開いていた市民講習会に顔を出したりしていた。1987年に転勤で山形市に転居、翌1988年に山形エスペラントクラブに入会し、初めて地方会の活動に参加することになった。しかし1990年に転勤で再び上京した後、結婚、父の交通事故死等の身の周りの慌ただしさが続き仕事も多忙となる中でエスペラントから離れてしまうことになる。エスペラントを再開するのは2003年に転勤で岩手県盛岡市へ転居してからで、既に13年の月日が流れていた。

盛岡に転居してまもなく、休日に訪れた地元の観光施設の中にあった宮沢賢治の生涯を展示したコーナーで「宮沢賢治がエスペラントを学び始める」という1行を目にして再びエスペラントを始めたいという気持ちがあがった私は、学生時代の RH 活動で顔見知りだった佐々木昌広君(1981年東京 RH 法政大学 Rond 入会)が実家のある岩手県雫石町に帰郷していることを思い出し連絡をとった。2003年6月28日、盛岡市内の飲食店で再開した私と佐々木君は RH 岩手 Rond を結成してエスペラントの活動を再開することにし、7月26日には JR 雫石駅併設の交流施設の会議室で例会を行い、佐々木君はホームページも立ち上げてくれた。

そのホームページを目にしたイーハトヴエスペラント会の佐藤竜一さんが8月23日の例会に突然来訪する。竜一さんは法政大学入学後にRHに入会、仙台RH設立の契機になった東北ブリガドにも参加していたが、その後エスペラントから離れていたため、それまで私や佐々木君との接点はなかった。岩手県に帰郷後、高校時代の恩師で最初にエスペラントを教えてくれた佐藤勝一先生が主宰していたイーハトヴエスペラント会に参加し再びエスペラントを学ぶ日々を送っていた。しかし2000年に勝一先生が病気で亡くなり、その後、様々な事情が重なってイーハトヴエスペラント会は休会状態となっていた。

佐藤竜一さんの計らいで私と佐々木君は9月27日に佐藤勝一先生の未亡人である佐藤淳子さんをはじめとするイーハトヴエスペラント会のメンバーとお会いし、同会に入会することになった。それから月1回の例会が5～10名の会員が参加して行われるようになり、翌年からは入門講習会も開くようになった。私は例会の進行や講習会の講師を務め、転勤で盛岡を離れるまで9年間イーハトヴエスペラント会で活動した。

2012年に仙台に転居した後は仙台エスペラント会の会員として活動している。不思議な巡り合わせの中で東北でのエスペラント活動を続けてきたが、これからも自分のできる範囲であせらずやっつけていこうと考えている。

(終)

Rondo Harmonia(ロンド・ハルモニア国際教育協議会)

岩手ロンドにようこそ!
BONVENEN AL RONDO
HARMONIA
en IŬATE(IWATE)



第2回例会のお知らせ

開催日 2003年7月26日(土)

時間 13:00から16:00

JR田沢湖線幸石駅(幸石銀河ステーション)2階ふれあいホール

場所 一ム

改札口を出て、直進1分強

Radio Ad Astra internacia (現在は放送していない)エスペラント放送装置後の放送を聞く

これからの活動について他

JR田沢湖線 盛岡12:36発 幸石12:53着 盛岡駅から普通料金320円

行き方 秋田新幹線こまち9号 東京9:56発 幸石12:38着

<http://rhonda.jp/infoindex.cgi/> 2003/07/26


★ イーハトヴ・エスペラント会月次例会報告 ★

日時 2003年9月27日(土) 13:00~16:00

場 所 高橋市プラザであつて開もりあ女性センター-交流コーナー

参加者 佐藤淳子、鎌田武志、佐藤竜一、菅尾道子、松本愛子、高橋章治、今泉久典(新会員盛岡市)、佐々木昌広(新会員幸石町) 以上敬称略

新会員2名を迎えて!



後列左より、
鎌田さん、佐藤(竜一)さん、
佐々木さん、今泉さん(兩名新会員)

前列左より、
松本さん、佐藤(淳子)さん、
高橋さん

自己紹介、会の近況報告より始まる!

9月27日、交流コーナーに各団体、利用者が多く集う中、緑屋の下、当会の例会が行われました。

各会員より、近況と新会員に向けての自己紹介が行われ、新会員からは自己紹介が行われました。兩名とも現在は40歳代で、学生時代は岩手では過ごしていないが、当会の放佐藤聯一完全とは異なり記録があったことが報告されました。

菅尾さんからは、岩手大学のエスペラント・ゼミナールの報告がありました。今年も開催の予定があります。残念ながら、菅尾さんは用事のため、報告後、帰られました。

その後、日本エスペラント大会と東北エスペラント大会の開催のお知らせがありました。当会からも、2つの大会への参加者があり、特に東北大会には、多く参加しようと思われました。

さらに、当会のホームページの開設も確認され、近日中に公開させることとなりました。

<http://rhonda.jp/infoindex.cgi/> 2003/09/26

2003年のホームページ

愛知サマセミの経験から

山口 眞一（名古屋市）

私は 2018、2019、2021 年と連続して、愛知サマセミ、通称サマセミでエスペラントの授業を市民講師として担当しました（2020 年はコロナ禍のため開催なし）。それには名古屋エスペラントセンターのメンバーがサポートをしてくれました。



サマセミは、愛知県において毎年 7 月に行われている公開教育イベントです。1988 年に第 1 回が開催され、今年は第 32 回を迎えました。年を追うごとに大規模化し、現在では 7 万人から 8 万人の、中高生・父母・私学教職員・一般市民参加があります。モットーは「誰でも先生、誰でも生徒、どこでも学校。教えたいことを教え、学び合いことを学ぶ『夢の学校』」。ですから、生徒自身が先生になることもありますし、外部からノーベル賞学者・政治家・スポーツ選手を招待することもあります。

サマセミには、以前にも数名の方が、エスペラントの講座を催したことがあります。当時は、語学としてのエスペラントを教えることに中心があったようです。

私が 2018 年からサマセミで講師を担当してからは、下記の方針を立てました。

- * 黒板・ノート・鉛筆、といった通常の授業スタイルではなく、中高生にエスペラントをプレゼンテーションする。
- * そのためのツールとして **Keynote** (Mac 用のプレゼンアプリケーション) を使い、視聴覚に訴える。
- * エスペラントの魅力や楽しさが伝わる。
- * いわゆる「理念」的な側面にも触れる。

参加者（受講者）は多い時で 14 人、少ない時で 3 人でした。宣伝そのものはサマセミ実行委員会の仕事ですから、私はこの方面では何もする

ことはなく、ただ、他の時間帯に並行する色々な講座との競合があるので、運次第かもしれません。

さて、実際の講座内容ですが、正味時間 70 分を次の 5 つに配分します。

1. 国際語ってなんだ？
2. 英語＝国際語？
3. エスペラントはどんな言葉？
4. エスペラント使用の実際
5. エスペラントの初歩を学ぼう

スライドは全部で 43 枚。うち、写真・音声・動画を入れたりします。本当は、毎年スライド内容を改定していくと良いのですが、いざとなるとなかなか時間がとれずに使い回ししているのが現状です。

中高生の反応は、まずまず良い方だと思います。もともとエスペラントについて知っていた子も、そうでない子もいます（前者の方がやや多いのですが、この講座に来るといことで、その知的好奇心は平均的中高生を上回っているのではないかと思います。）下記に、アンケート（これは実行委員会に提出するもの）から拾った感想を 2 人だけ紹介します。

「私はエスペラントという言葉が何なのか知らなくて、何だろう、と思って受講しました。私は、不規則だったり例外が多いので英語がすごく苦手です。英語が母語の国に生まれたかったなあ、と思っていました。でもエスペラントをたくさんの方が話せるようになればどこの世界の人とも話せるし、旅行も怖くないと思いました。私もエスペラントを話せるようになって海外へ行って色々話してみたいと思いました。ちょっとエスペラントを知ることができて楽しかったです。」（18 歳女子）
「エスペラントのことは知ってはいたが、此処まで発達していたとは思っていなかった為、とても驚いた。特に、エスペラント語で歌が作られていることを知らずに、名前だけ、という感じだったので、とても嬉しかった。エスペラント語を話せるだけで無料で泊めてくれる民泊があるなど、実用的なことまで知ることができたと思う。又、ゲームや月刊誌などもあると知って、少し馴染みやすかった。思った以上に簡単で好感が持てた。学べて良かった。」（16 歳女子）

（終）

日本大会で流れた La vojo

以前広島 RH に在籍されていた信國 裕 (のぶくに ひろし)さんが La vojo に曲をつけておられます。今年の第 108 回日本エスペラント大会で、ご本人が弾き語りされた録音がオンライン番組の幕間に流されました。その楽譜を 18 頁に掲載しています。

La vojo は L.L.Zamenhof が 1894 年に創った詩です。1894 年というと、エスペラントを 1887 年に発表して 7 年後のことで、エスペラント運動が苦境を迎えた頃です。苦境の一つは、エスペラントの改造の投票が行われたこと（改造案は否決された）で、もう一つは、世界最初の定期刊行物 La Esperantisto の財政問題です。その苦境を反映して、La vojo の内容は努力して目的の道を歩むというもので、今も人気がある詩です。

この La Vojo を韓国のエスペランティスト Amira CHUN さんが 2019 年のラハティ(フィンランド)での世界エスペラント大会で歌われており、YouTube にアップロードされています。YouTube で “vojo amira” で検索すれば、複数の動画が検索できます。是非お聴きください。

(編集部)

La vojo

L. L. Zamenhof

Tra densa mallumo briletas la celo,
al kiu kuraĝe ni iras.
Simile al stelo en nokta ĉielo,
al ni la direkton ĝi diras.
Kaj nin ne timigas la noktaj fantomoj,
nek batoj de l' sortoj, nek mokoĵoj de l' homoj,
ĉar klara kaj rekta kaj tre difinita
ĝi estas, la voj' elektita.



Nur rekte, kuraĝe kaj ne flankiĝante,
ni iru la vojon celitan!
Eĉ guto malgranda, konstante frapante,
traboras la monton granitan.
L' espero, l' obstino kaj la pacienco –
jen estas la signoj, per kies potenco
ni paŝo post paŝo, post longa laboro,
atingos la celon en gloro.

Ni semas kaj semas, neniam laciĝas,
pri l' tempoj estontaj pensante.
Cent semoj perdiĝas, mil semoj perdiĝas, –
ni semas kaj semas konstante.
"Ho, ĉesu!" mokante la homoj admonas, –
"Ne ĉesu, ne ĉesu!" en kor' al ni sonas:
"Obstine antaŭen! La nepoj vin benos,
se vi paciencelatenos".

Se longa sekeco aŭ ventoj subitaj
velkantajn foliojn deŝiras,
ni dankas la venton, kaj, repurigitaj,
ni forton pli freŝan akiras.
Ne mortos jam nia bravega anaro,
ĝin jam ne timigos la vento, nek staro,
obstine ĝi paŝas, provita, hardita,
al cel' unufoje signita!

Nur rekte, kuraĝe kaj ne flankiĝante
ni iru la vojon celitan!
Eĉ guto malgranda, konstante frapante,
traboras la monton granitan.
L' espero, l' obstino kaj la pacienco –
jen estas la signoj, per kies potenco
ni paŝo post paŝo, post longa laboro,
atingos la celon en gloro.

La vojo

teksto : L.L.ZAMENHOF
muziko : NOBUKUNI Hiroshi



1) Tra den-sa mal-lu-mo bri-le-tas la ce-lo, al ki-u ku-ra-ĝe ni
2) Nur rek-te, ku-ra-ĝe kaj ne flan-ki-ĝan-te, ni i-ru la vo-jon ce-
3) Ni se-mas kaj se-mas, ne-ni-am la-ci-ĝas, pri'l tem-poj es-ton-taj pen-
4) Se lon-ga se-ke-co aŭ ven-toj su-bi-taj vel-kan-tajn fo-li-ojn de-
5) Nur rek-te, ku-ra-ĝe kaj ne flan-ki-ĝan-te, ni i-ru la vo-jon ce-



i-ras. Si-mi-le al ste-lo en nok-ta ĉi-e-lo, al
li-tan! Eĉ gu-to mal-gran-da, kons-tan-te fra-pan-te, tra-
san-te. Cent se-moj per-di-ĝas, mil se-moj per-di-ĝas, ni
ŝi-ras, ni dan-kas la ven-ton, kaj, re-pu-ri-gi-taj, ni
li-tan! Eĉ gu-to mal-gran-da, kons-tan-te fra-pan-te, tra-



ni la di-rek-ton ĝi di-ras. Kaj nin ne ti-mi-gas la
bo-ras la mon-ton gra-ni-tan. L'es-pe-ro, l'obs-ti-no kaj
se-mas kaj se-mas kons-tan-te. "Ho, ĉe-sul" mo-kan-te la
for-ton pli fre-ŝan-a-ki-ras. Ne mor-tos jam ni-a bra-
bo-ras la mon-ton gra-ni-tan. L'es-pe-ro, l'obs-ti-no kaj



nok-taj fan-to-moj, nek ba-toj de'l sor-toj, nek mo-koj de'l ho-moj, ĉar
la pa-ci-en-co, jen es-tas la sig-noj, per ki-es po-ten-co ni
ho-moj ad-mo-nas, "Ne ĉe-su, ne ĉe-su!" en kor'al ni so-nas: "Obs-
ve-ga a-na-ro, ĝin jam ne ti-mi-gos la ven-to, nek sta-ro, obs-
la pa-ci-en-co, jen es-tas la sig-noj, per ki-es po-ten-co ni



kla-ra kaj rek-ta kaj tre di-fi-ni-ta ĝi es-tas, la voj' e-lek-ti-ta.
pa-ŝo, post pa-ŝo, post lon-ga la-bo-ro, a-tin-gos la ce-lon en glo-ro.
ti-ne an-ta-ŭen! La ne-poj vin be-nos, se vi pa-ci-en-ce el-te-nos."
ti-ne ĝi pa-ŝas, pro-vi-ta, har-di-ta, al cel' u-nu-fo-je sig-ni-ta!
pa-ŝo, post pa-ŝo, post lon-ga la-bo-ro, a-tin-gos la ce-lon en glo-ro.

(El kasedbendo "por marto" 1987)

広島 RH オンライン同窓会 2021

福井 政春（岡山県倉敷市）

8月21日、土曜日に ZOOM で開催しました。

昨年度はコロナの影響で広島RH同窓会が出来ませんでした。今年も直接会う対面での開催はあきらめて、その代わりオンラインでの開催にしました。第1部と第2部に分けて行いました。1部と2部の内容は以下の通りです。エスペラントを始めた年代が20年近く開いているため、それぞれの年代の話を写真を多く交えて振り返りました。

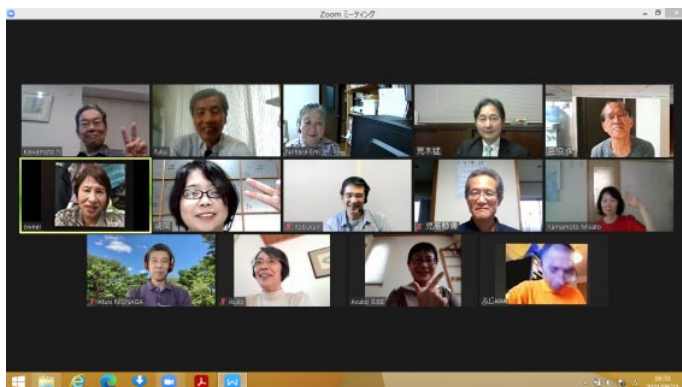
◆ 1部 15:00～17:00 参加者数： 15名 司会： 福井政春

▽プログラム

1) 参加者全員が各1分程度の近況報告をしました。

2) 昔と今の話、あれこれ

- ・ 山口百合子(Liliêo)： 広島 RH 創成期のころ
- ・ 信國 裕： 広島高校生 RH とその時代 (写真で振り返る)
- ・ 福井政春： 広島 RH の 70 年代後半以降 (〃)
- ・ 荒木 猛： 広島 RH のおもに 80 年代 (〃)
- ・ 石部敦子： 広島 RH のおもに 90 年代以降 (〃)
- ・ 河元寛視： 最近のエスペラント運動はどうなっているのか



集合写真

3) 来年の同窓会について :

同時期にできれば実際に会って実施したい

(2部では、オンラインも併せて行う提案がありました)。

4) Promenu solaj ni と La Tagiô を、信國さんが作成した画像付き伴奏に合わせて全員で歌いました。

◆2部 オンライン飲み会 : 19:00~21:00 過ぎ 参加者数 : 11名

当初2グループに分かれる予定だったが、分かれずに全員で楽しくおしゃべりをしました。

◆参加者 :

《1部2部とも》

石部敦子*、河元寛視*、崎岡明子、西永篤史、野原エミ*

信國 裕*、福井政春*、山口百合子、山本美郷

《1部のみ》

荒木 猛、大本育子、児高静博、杉林晴行、藤富孝士、盛脇保昌

《2部のみ》水津哲義、田中茂治

※敬称略、50音順、*印は世話人

今回オンラインで行ってみていくつか気づきがありました。まず、住んでいる場所に関係なく会合に参加できます。特に大本さんはドイツからの参加でした。また、ZOOMによる写真や映像を使う事ができるので全員で同じものを見て楽しむことが出来ました。これらは新しい発見でした。来年もZOOMなどの優れたところを取り入れて同窓会を開くことも可能になったと思えました。いずれにしても楽しい会合になりました。今回オンラインに参加できなかった皆さんも来年は参加していただけたらうれしく思います。

(終)

Kindle 書籍の作り方

belmonto

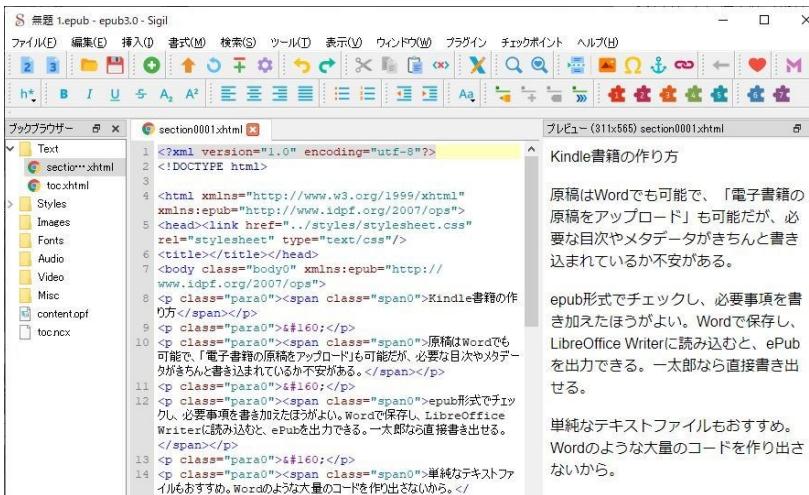
やました としひろ (鹿児島県日置市)

1. 原稿の準備

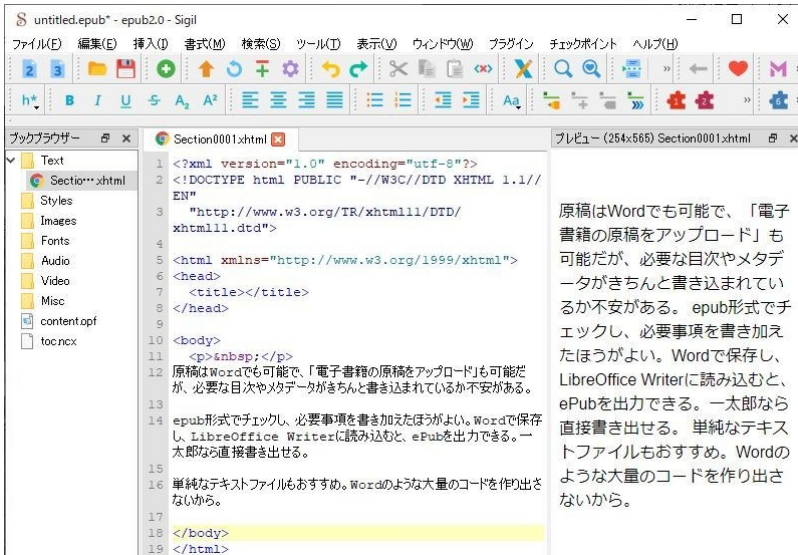
原稿は Word でも可能で、これを kdp で「電子書籍の原稿をアップロード」することも可能だが、必要な目次やメタデータがきちんと書き込まれているか不安がある。

epub 形式でチェックし、必要事項を書き加えたほうがよい。Word で保存し、LibreOffice Writer に読み込むと、epub を出力できる。一太郎なら直接書き出せる。

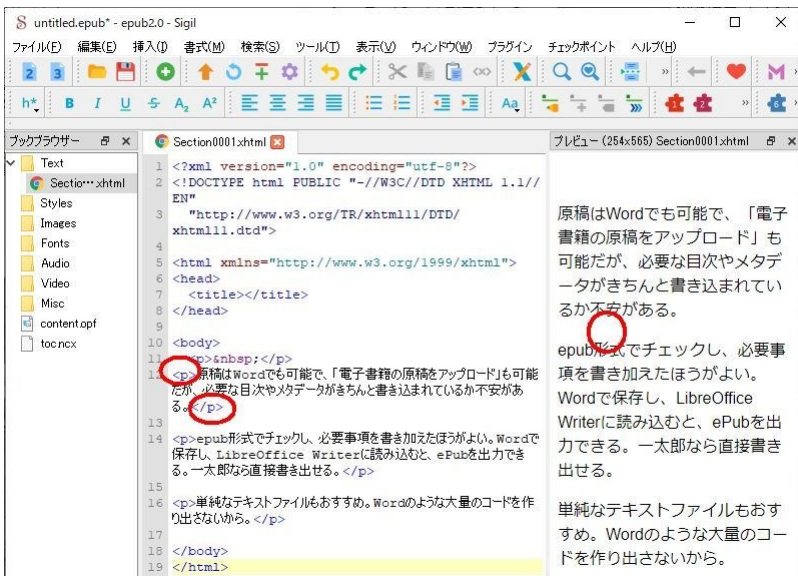
単純なテキストファイルもおすすめ。Word のような大量のコードを作り出さないから。次の図は Writer で出力した epub を Sigil に読み込んだもの。



epub 編集ソフトは Sigil がおすすめ。起動ののち epub 形式のファイルを読み込む、または、テキストファイルをその中にコピーする。テキストファイルで書いた場合、html と同じく改行など反映されないから、書き込んでやる必要がある。



右のプレビュー画面をみると、改行されていないことがわかる。これにhtmlコードを入れるとこうなる。



点検をすませたら、**epub** で再度保存する。

なお、**html** のタグのすべてが **Kindle** でできるわけではない。文字背景の色とか、テキストボックスなど、再現できない。

ここで **Kindle Previewer** を起動して、いま保存した **epub** を読み込む。これで正常に表示できるかどうかチェック。端末の種類で、タブレット・スマートフォン・**Kindle** 端末を選びそれぞれチェック。「品質チェックの実行」をクリックして確かめる。**Kindle** 端末では表紙が白黒になる。

次に「品質チェックの実行」をクリックして確かめる。

「エクスポート」で **kpf** 形式で保存したら、次回読み込みの時にいちいちチェックをしないで読み込める。

2. Kindle にアップロード

kdp にアクセスし https://kdp.amazon.co.jp/ja_JP/

Amazon アカウントでサインインする。

電子書籍または有料漫画をクリック

※初回、個人情報や銀行口座、アメリカの税関係をこまかく入力しなくてはならないので、なんとか乗り越えよう。

タブ「Kindle 本の詳細」

- ・言語
- ・本のタイトル・フリガナ・ローマ字
（オプション）サブタイトル・フリガナ・ローマ字
（オプション）レーベル・フリガナ・ローマ字
- ・シリーズ（オプション）シリーズ情報
- ・版（オプション）
- ・著者 主な著者・フリガナ・ローマ字
- ・著者等（オプション）翻訳の場合はここも記入
- ・内容紹介 6000 字以内 ここがそのまま **Kindle** 販売のページに出るので、あらかじめ準備しておいたほうがよい
- ・出版に関して必要な権利
わたしが権利をもっている・パブリックドメイン から選ぶ

- ・ キーワード（オプション）7つ書き込める
- ・ カテゴリー ツリーのなかから2つ選択
- ・ 年齢と学年の範囲
 - ・ 成人向けのコンテンツ いいえ選択
あとの2つのオプション（学年範囲）は不要
- ・ 保存して続行ボタンをクリック

タブ「Kindle 本のコンテンツ」

- ・ 原稿
 - デジタル著作権管(DRM) はいを選択
 - ページを読む方向を選択
 - 電子書籍の原稿をアップロードボタンをクリック
(アップロードできるのは、epub・kdf・docx。pdfはできない)
- ・ Kindle 本の表紙 1000 x 625 ピクセル以上
参照からアップロード原稿を選ぶ
- ・ Kindle 本のプレビュー
長くかかる。
Kindle Previewer でチェックしている場合は不要
- ・ Kindle 電子書籍 ISBN（オプション）
- ・ 保存して続行ボタンをクリック

タブ「Kindle 本の価格設定」

- ・ KDP セレクトへの登録 する
- ・ 出版地域 すべての地域
- ・ 主なマーケットプレイス Amazon.co.jp を選ぶ
- ・ 価格設定、ロイヤリティ、配信
35%, 70%から選ぶ。KDP セレクトへ登録しなければ35%のみ
Amazon.co.jp で価格を入れると、他の国の分が自動ではいる
- ・ 本のレンタル 現在日本ではできない
- ・ 利用規約 最大で72時間かかることがある
著作権などあやしいばあいはメールがとどく
- ・ Kindle 本を出版 をクリック これで作業終了

審査に最大 72 時間かかるとかいてあるが、わたしのばあい、ほとんどが 4~5 時間で販売開始に至っている。1 回のみ著作権がらみでメールのやり取りで数日かかった。

さて、電子書籍は難しいのか、あるいは多くのエスペランティストの年齢レベルにあわないのか、これまでに出した Kindle 書籍はそれぞれ 1、2 冊しか売れていない。みなさまにぜひ買っていただきたい。

また、Unlimited の会員が読んだページ数は Amazon がチェックしており、それに応じてこちらになにがしかのバックもあるので、これも筆者のためにばらばら、どんどんめくってもらいたいナア。

これまでに出したエス書（新しい順に配列）

- 1 源氏物語 6 - Rakontaro de Genĝi 6 (Kindle 版) , 2021
- 2 源氏物語 5 - Rakontaro de Genĝi 5 (Kindle 版) , 2021
- 3 源氏物語 4 - Rakontaro de Genĝi 4 (Kindle 版) , 2021
- 4 小さな一歩 人と人との交流語 エスペラント (Kindle 版) , 2021
- 5 スマホ怖がりに捧げるインターネット技術集 (Kindle 版) , 2021
- 6 古めのコンピュータのための Xubuntu 活用術 (Kindle 版) , 2021
- 7 さっさとエスペラント しっかり学ぶ編 (Kindle 版) , 2021
- 8 テーゲーかんたん国際語エスペラントをはじめめるぞ
lernu Esperanton tuj (Kindle 版) , 2021
- 9 ちょこっと上のエスペラント再入門
levu vin pli alten en Esperanto (Kindle 版) , 2021
- 10 わが人生の遺産 エスペラント
heredaĵo dum mia vivo (Kindle 版) , 2021
- 11 私はかうして死んだ！
Mi mortis tiamaniere! (Kindle 版) , 2021
- 12 さっさとエスペラント 文字と発音マスター編 (Kindle 版) ,
2021

委託出版

- 13 Ainaj Jukaroj アイヌ神謡集 カムイユカラ (Kindle 版) , 2021

韓国語

- 14 耳で聞いた韓国語表現小辞典 (Kindle 版) , 2021

なおこの文書の epub は次にアップロードするので、どんなふうに見えるのか、こちらも読んでいただきたい。

<http://esperas.info/?kindle-tukuri>

ID なし、パスワードは densyo

(終)

やましたとしひろさんが 2021 年の小坂賞を受賞

小坂賞は、1919年にJEIを創立した小坂狷二の功績を記念して、エスペラント運動に貢献した個人、または団体に贈られます。

2021年の小坂賞に、やましたとしひろさん (belmonto) が選ばれました。

受賞理由は次のとおりです。

「やましたさんは、1964年のエスペラント学習開始以来、鹿児島を拠点として、自身のウェブサイト「esperas! エスペラントの世界」

(<http://esperas.info/>) を主宰し、多彩なエスペラント活動を精力的に展開してきました。インターネットの技術を活用した各種のオンライン学習会の開催、得意の韓国語を活かした韓国エスペラント界との交流、日本文学、特に『源氏物語』の翻訳・出版、エスペラント学習書の出版活動などです。最近では、著作の一部を電子書籍としても出版するなど、その多方面にわたるエスペラント活動が評価されました。」 (La Revuo Orienta誌8-9月号「JEIだより」より)

今後のご活躍を期待しています。

(編集部)

1968 年から 70 年代の思い出

柴山 純一（横浜市）

仙台 1968-1971

私は 1950 年生まれ、中学時代にエスペラントのことを知り興味をもった。実際に熱心に始めたのは 1968 年に仙台市の東北大学に入学し、全員が 1,2 学年を過ごす教養部時代に、教養部（仙台市川内：かわうち）にあった、Kaŭauĉi-Esperanto-Klubo (KEK) に入ってからだった。この年の夏休みに栃木県のお寺（名前を忘れた。両毛線沿線）である全国学生エスペラント合宿に、同時入会の赤城光三さんと同時に参加した。そこで、“Zamenhofa Legolibro”という本でエスペラントを勉強したが、その時の講師が江崎雅康さん。その時、江崎さんから、関西でできてまもなくの Rondo Harmonia (RH) のことを伺った。また、この時の JEI 学力検定試験初級の試験官は宇都宮大学 OB の鈴木弘さん。後に、この方は RH の設立に大きく関わった方と知った。

当時は実は関西地方には関西学生エスペラント連盟 (KLES) という団体があったが、RH はそれに反発して関西地方の大学で結成されたという話だった。1969 年春休み、私は関西地方に旅行して、実にその KLES の合宿と、それに続いて開催された RH の合宿が同じ六甲山の施設であるのに参加した。おかげで、カレーライスなど同じ献立が 3 日ごと(?) に繰り返されるのを経験し、おまけに「カレーにソースをかける」という初めての体験にとまどった。この時に、確か、あらたに RH に参加した広島や岡山の学生と知り合った。

東北大では 3 年生になり、工学部に通うようになってからは、KEK にたまに顔をだしたが、残念ながら KEK は立ち消えになっていった。私は仙台エスペラント会で活動し、UEA や JEI にも入会した。

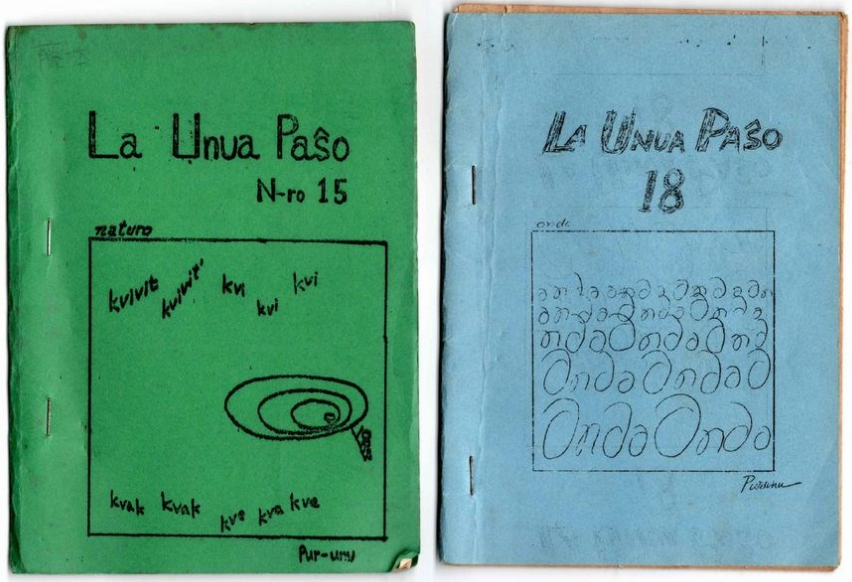
阪神間 1972-1981

1972 年 4 月、就職して、関西に住むようになった。職場が兵庫県尼崎市の阪急神戸線塚口駅近く、独身寮が西宮市の同線夙川（しゅくがわ）

駅近くであった。私は、当時 RH とは反発する関係にあった関西エスペラント連盟 (KLEG) にも出入りし、JEI の会誌にも投稿したが、以下では RH に限って話す。RH では全国合宿にも出て、東京、名古屋、京都、大阪、岡山、広島、九州などの会員とも交流した (仙台にはなかった)。

当時、RH は兵庫県内においては、大学では神戸大学と神戸市外国語大学 (神外大) にロンドがあった。その学生が講師として、社会人からなる「市民ロンド」を立ち上げ、エスペラントを指導していた。その市民ロンドは、西宮市、神戸市灘区と伊丹市に存在していた。

西宮市は、夙川駅近くの夙川公民館が会場であり、そこは私の通勤途上の駅近くなので、よく通った。同ロンドで活動した人に、同年広島女学院大学を卒業し、宝塚市の方で国語の先生になった藤本律子さんがいた。藤本さんとは RH 全体の「分科会活動」として文芸誌 *La Unua Paŝo* を出したりした (挿絵は同誌 15 号と 18 号で、表紙は私の pop-poemo と称した作品)。このロンドには神外大からは馬場 (現:市川) みどりさんなどが来ていた。同市には他に甲東地区にロンドがあった。



このロンドであるとき、エスペラント講習会で学習者を募集したが、一人若い男性がやってきて、講習会費を払った後の最初の時間に一通り説明を受けたあと、「これは英語の新しい学習方法ではないのか」と質問してきた。当方はエスペラントの説明をしたので、その方は「今後来ない」となった。講習会費であるが、これは返却せず、その代わり『エスペラント四週間』を贈った。

灘の会場では、かなり年配の方が熱心に受講されていたが、その方は主義として「自由な学習環境では予習はすべきでない」としていて、学習指導に来ていた神戸大・神戸外大の人が予習を勧めるのと意見が衝突していた。その方については後に訃報を受取った。

伊丹ロンドの会場は、始め阪急伊丹駅の近くにあった。この駅は阪急塚口駅から支線の伊丹線で3駅であり、職場から近いので私も時々訪れた。後にこの会場は使えなくなり、駅からバスでいく所が会場となった。しかし少し不便であった。後に、塚口駅近くの立花公民館でも例会をするようになり、私もそこに通った。その公民館の例会こそはすたれたが、その時中心になった一人である小河畑（こがはた）紀子さんと、1978年に私は結婚した。新婚旅行では、当時彼女の文通相手であった西ドイツのベテランの方のお宅にもお世話になった。

1980年5月には京都府大山崎町の宝寺でのRH市民合宿に夫婦で参加している。

その後、1981年に転勤で神奈川県に引っ越し、定年退職後の今も住んでいる。引っ越し後は、会誌を通してのRH会員であり、会合には出ていない。

(終)

<編集部より>

柴山純一さんは、神奈川県に引っ越しされた後も、エスペラント運動に多大な寄与をされています。1999年から2012年までJEI(当時は日本エスペラント学会)理事長を務められました。現在でも、JEI(日本エスペラント協会)会誌 *La Revuo Orienta* 編集長、NPO法人エスペラントよこはまの代表理事を務められています。

コロナ禍の私の活動

田渕八州雄（兵庫県明石市）

【1】自己紹介

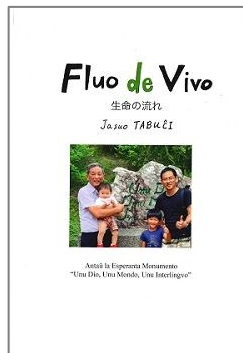
Saluton ! Longan tempon! 1970 年に神戸市外国語大学（英米学科）に入学した。秋の大学祭のエスペラント展示があり、その時にエス研と同時に RH に入った。2 年時には貫名美隆教授が担当されていた選択科目でもエスペラントを学んだ。RH の職掌は教育であった。2 年時から兵庫県西宮市の甲東公民館で市民講習会の講師も務めた。大学間の交流で、近隣の神戸大、甲南大、奈良女子大等へ出かけたり、淡路島等の全国合宿で全国の仲間と知り合えたのは懐かしい思い出だ。

【2】2019 年～2020 年

45 年間務めた英語教師を辞した 2019 年の夏は Finlanda UK（世界エスペラント大会）に参加したあと、ワルシャワに行った。Zamenhof 博士の墓地にお参りし、地元エス会訪問、Bjalistoko, Treblinka Koncentrejo 跡も訪ねた。秋は韓国エスペランチスト大会（晋州市）に LKK として参加して Koreaj amikoj と親睦を深めた。

2020 年はカナダでの UK 開催がなくなり、自著「Fluo de Vivo 生命の流れ」執筆に励んだ（12 月に天声社より出版、B5 判、138p、税込み 880 円）。

9 月には名古屋での日本大会・大会大学で講演“Kiel apliki mian sperton kiel la instruisto de al la angla lingvo al la edukado de Esperanto”を行った。その時に神戸外大の後輩の片山浩子さんと出会えたのは嬉しい出来事であった。



【3】2021 年 4 月より—コミュニケーション志向の「生の英語教育」を！

4 月に英語講師として 43 年勤務した神戸市にある私学の高校に復職した。ただし、会話・文法や受験に関する技術のみを教えるのはつまらないと思い、“Aŭtentika, Globa, Komunikado” を目標に「生きた英語

体験」を生徒に体験して欲しかったので、エスペランチストに協力を願った。高校 1 年の生徒に 5 月に東京五輪を開催すべきか否かについて英文の意見（10 名）を書かせた。それをエス文に訳したものと原文（英文）両方を海外のエスペラントの友人に送った。但し生徒には、英文を読ませたいので、エス語と英語で回答を送ってくれるように依頼した。

Respondoj はブラジル（サンパウロ）、ロンドン（3 名）、ワルシャワ、釜山から返事が届いた。生徒は生の英語での世界から反応がもらえて喜んだ。

【4】Zoom ミーティング

(A) 関西エスペラント大会の準備で Zoom ミーティングの活用

2021 年 7 月 31 日～8 月 1 日に関西大会が開催された。大会のテーマが“Espero post Katastrofoj”であった。LKK（現地大会実行委員会）である神戸エス会のメンバーは 1995 年の阪神淡路大震災と今のコロナ禍で共通すること、つまり災害や苦難に負けずに希望を持つことの大切さをアピールしたかった。

今年の震災記念の日（1 月 17 日）に神戸市は震災復興歌である「しあわせ運べるように」を市は第 2 の市歌にすると宣言した。2013 年に、この歌のエス訳を私がしていたので関西大会で歌うことになった。練習は Zoom ミーティングでもやってみた。

(B) 山川修一さんの Zoom ミーティング

昨年の夏から山川修一さんの Sabata Kunsido（月 1 回開催）に参加して、ほぼ毎月パワーポイントで prelego をしている。

(C) EPA（エスペラント普及会）のグループで！

EPA の仲間とも輪読会（Sen Familio 家なき子）を始めて今では 1 年間が経過した。また地元神戸 EPA の仲間と Zoom ミーティングで勉強会を、この 8 月から始めている。コロナ禍のピンチがチャンスと思い、何でもかんでも積極的に物事に挑戦したく思っている。

またお会いしたいです。Bonvole fartu bone!

(終)

人名のローマ字表記について

綿貫 健一郎（東京都）

あえて言わせてください！

日本エスペラント大会や世界エスペラント大会の日本人のローマ字表記の参加者名簿を見ると、3種類の表記があることがわかります。日本式、エスペラント式、ヘボン式、です。

ずっと前から感じていたのですが、これはとてもおかしな事だと思えます。日本人の名前の書き方がこんなにもばらばらなのは、おそらくエスペラント界だけではないでしょうか？英語でもポーランド語でも、日本人の名前の表記は一定しています。

私の結論は、ごく単純、エスペラント式や日本式はやめて、ヘボン式にエスペラントでも統一しましょう。なぜなら、今の日本では日本語の固有名詞は99%、ヘボン式で転記されているからです。

3つの表記方法のどれが優れているか、には触れません。議論が無限ループになってしまいますので。ただ、エスペラントの普及が最大課題である以上、日本のエスペランティスト以外には通じない書き方はやめた方が良いと私は考えます。

表記方法の良し悪し以外の別の観点を述べさせてください。

ローマ字は発音文字である、というのは半分は嘘です。それよりももっと大切な事は、自分の名前はアイデンティティーであって、どの言葉でも同じように表記されるべきである、という点です。

私は自分の名前、健一郎、を英語でもポーランド語でもエスペラントでも、常に **Kenichiro** と書きます。日本人であれば、これが けんいちろう だな、とすぐにわかりますが、アメリカ人は何と読むのでしょうか？キーナイチロウでしょうか？ポーランド人なら、ケニヒロ でしょう。そんなのは嫌だ、という人もいるでしょうが、いや、それで良いのです。大切なのは、健一郎 という固有名詞が、ローマ字では常に同じように書

かれる事なのです。日本語を知らない外国人に日本語の固有名詞を日本語通りに発音してもらい、なんて事は所詮は無理なのです。

それから、けんいちろう を **Kenichiro** か **Kenichirou** にするか、つまり長い母音と短い母音を区別するか、ですが、これは無視した方が国際的には実際的です。長母音と短母音を区別しない言葉はけっこうたくさんあります。日本人には、小野さんと大野さんがいずれも **Ono** になってしまうのは、おかしいですが、でも日本語を知らない人には、重要ではないのです。もっと大切なことは、英語でもエスペラントでもポーランド語でも、自分の名前が **Ono** で一定していることなのです。

韓国な著名なエスペランチストに **Lee Jung-kee** さんという方がいらっしゃいます。この方に最初にお会いした 1984 年にいただいた名刺には、**I Ġung-gi** とエスペラント式で書かれていた記憶があります。ところが、数年後に頂いた名刺では、**Lee Jung-kee** になっていました。韓国政府が韓国人のローマ字表記はこのようにすべきだ、と正式決定をした結果、だと聞き及びました。韓国語を知らないエスペランチストは、この名前を レー・ユン (グ) ケーと言うでしょう。それで良いのです。重要なのは、この方の名前のローマ字表記が他の韓国人と同じ表記方法で書かれていることなのです。

もう 1 つの例。かつてのイギリスの女性首相、**Thacher** さんは日本語ではサッチャーですよね。ポーランド人は、タッチャー と言いました。英語の **th** の音を日本語ではサ行にしますが、ポーランド語では **t** の音にします。大切なのは、発音ではなく、ローマ字を使う全ての言葉において、この方は **Thacher** であることなのです。

自分の苗字 **Watanuki** をポーランド人は、ヴァタヌキ と発音します。ポーランド語式に **Latanuki** と書けば、日本語には近くなります。ただ、ポーランド語を知らない人は読み方もわからないでしょう。エスペラント式に **Ŭatanuki** としてもエスペランチスト以外には通じません。

(終)

コロナ禍とエスペラント

石部 敦子（広島県東広島市）

昨年から、新型コロナウイルス感染症が流行するにしたがって、波が寄せるように次から次へのいろいろなイベントが中止となってきた。

仕事も同じように多くの会議、研修が中止、延期となり懇親会を含む多くの飲み会が無くなった。昨年飲み会をしたのは、1回のみである。

勤務体制も変化があり、職場の人を減らすということで、テレワークの実施が推奨となった。それまでは、モバイルPCを借りて実施だったが、直前の1月迄にPCの入替えがあり、各自にノートパソコンが配布された（それまでは基本デスクトップPCであった）。これにより各自が職場のPCを持ち帰って自宅での仕事ができるようになった。通信状況は、PCにSIMが入っているため、どこでも可能であり、基本PCから職場環境と同じ作業ができることとなった（メール、文書の作成、総務関係の手続等PCで出来ることは可能）。基本文書の保存は、サーバー上なので、クラウドの利用と同じ形態である。

コロナ禍と並行して、自然災害が大きくなった。台風以外にゲリラ豪雨、線状降雨帯などの今までに経験ないものである。平地の少ない広島県は、災害が発生しやすく、近年は、JR（在来線）が、あっという間に運休することとなる。現在、福山へ1時間半かけて通勤している私は、2つの在来線（糸崎駅で岡山管区と広島管区が変更し、必ず乗り換えがあり、この駅で運休状況が変わる）をまたいでいるため、JR運休の影響を受けやすくなった。幸い新型コロナ禍で利用が促進されたテレワークをいつでも利用が可能となり、アナウンスも早くなった運休情報で、事前に計画を立てることが可能となった。

ということで、今年度に入って、研修がオールZoomとなり、会議もリモート若しくは対面のハイブリット実施となった。1日のZoom研修、会議は自宅での受信となり、勤務先への通勤の時間が省略され、貴重な時間の捻出が可能となった。

一方エスペラント大会も軒並み中止、延期となりいろいろな場所で行われていたそれらが無くなり活動が制限されてきた。そこで、みな対応を徐々に検討してきて、リモートでの開催を増やしてきた。La 108-a

Japanana Esperanto-Kongreso en Hiroshima（日本エスペラント大会）も6月には完全オンラインでの開催をすることに方向性が変更となった。LKKの実行委員会も2月ごろからオール Zoom となった。（昨秋までは、他県の人のみ Zoom だった）スマートフォンでもアプリを入れると Zoom は使用可能であり、どこでも会議に参加ができる。

昨年の日本大会のオンライン参加は、Zoom と discord の2種類の対面とのハイブリッド開催であったが、本年度は、非常事態宣言下ということで、完全オンライン開催となり、広島開催という名称（場所）を使う意味等を考えることとなった。結局のところ、他のイベント（学会）等と同様に準備や計画を立てる地方が開催地という意味での名称の使用で落ち着いている感じである。

今年度の利用形態は、Zoom と Jitsi を利用した。新しい会議ソフト（アプリ）がいろいろ出るのでその都度対応をせざるを得ないのが、現状である。（職場では、この他 WebEx も利用している）

Zoom での実施で良かった点は、表彰状の記載を実際に見えたこと。選択肢が少なく分科会の選択にあまり迷わなかった。外国の参加者を無料とし、参加が容易となる（ただし、時差があるので参加時間に制限がある）。

日本大会で困った点は、3日連続で、全て参加するには、PC やスマホの前に座り続けるのが苦痛だった。（なにせその前日の台風接近でのテレワークから続いてのリモートだったもので）

日本大会準備の間を縫って広島 RH の同窓会を Zoom で行う企画がなぜか立ち上がり、大会直前の8月に開催した。少人数ではあったが、写真を共有しての話など、顔を合わせてとは違った良さも実感できた。

新型コロナウイルス感染症は、今後あつという間になくなるとは思えないので、状況に応じていろいろな形態での対応を行っていくのが、今後のエスペラント運動に求められ、時代の流れになったと感じた。

（終）

Domo sur Monteto (岡の家)



Verkis Suzuki Miekiti (鈴木三重吉)
Esperantigis Virina Klubo

Sur la monteto troviĝis kamarana domo.

La familio estis malriĉa kaj ne povis dungi helpanton, do la knabo devis labori kun sia patro.

La knabo ĉiutage senripoze laboris en kampo kaj grenejo. Kaj vespere dum nur unu horo la knabo havis liberan tempon por ludi.

Tiuokaze la knabo ĉiam iris al alia malantaŭa monteto. De supre de la monteto, li povis vidi la domon kun ora fenestro trans kelkdek ĉooj (*).

La knabo ĉiutage iris por vidi la belan fenestron.

La fenestro ĉiam ege brilas dum kelka tempo. Baldaŭ lumo subite malaperis, ĉar eble la domano fermis la pordon.

Kaj jam ĝi fariĝis tute same kiel aliaj domoj.

La knabo pensis, ke en vespero ankaŭ la ora fenestro estis fermita. Li revenis hejmen kaj manĝis panon kun lakto, poste dormis.

Iun tagon lia patro diris al la knabo:

“Vi laboras bone. Kiel rekompenco, mi donu al vi unutagan libertempon. Vi povu iri ien ajn. Sed neniam forgesu ke dio donas al vi la liberan tempon. Ne pasigu vane, kaj revenu lerninte ion bonan.”
La knabo tre ĝojis kaj pensis iri ja hodiaŭ al la domo kun la ora fenestro. Li petis al la patrino unu pecon da pano kaj enmetis ĝin en la poŝon kaj ekiris.

Tio estis tre amuza ekskurso por la knabo.

Li nudpiede iris kaj postlasis piedsignojn sur blanka polvo de la vojo.

Kiam li turnis sin, li trovis ke la spuroj de piedsignoj longe daŭras.

Ŝajnis al li ke la piedsignoj ĉiam sekvas lin.

Ankaŭ lia ombro sekvis dancante kaj kurante same kiel li faras. Tio

estis treege amuza por la knabo.

Baldaŭ, iom post iom li malsatiĝis.

La knabo manĝis panon, sidante sur la rando de rivereto, kiu fluas apud la vojeto. Kaj li trinkis la puran akvon per siaj manoj.

Poste, la malmolajn krustojn de la pano kiujn li ne manĝis, li dispecigis kaj disĵetis ĉirkaŭen. Birdetoj povos manĝi ilin libere.



Tion li lernis de sia patrino.

La knabo denove iris kaj iris senripoze.

Finfine li atingis la piedon de alta kaj helblua monteto, kiun li kutime vidis.

La knabo supreniris la monteton kaj trovis la domon.

Li alproksimiĝis kaj rigardis ĝin. Li rimarkis ke la fenestroj de la domo estis faritaj ne de oro sed nur de vitroj. La knabo tute seniluziiĝis. Li senesperigis kaj volis ekplori.

Tiam sinjorino elvenis el la domo. Kaj ŝi milde demandis al li “Kio okazis?” La knabo diris: “Mi venis por vidi la oran fenestron de ĉi tiu domo. Mi povas vidi ĝin de la monteto malantaŭ mia domo. Sed ne ekzistas tia fenestro kaj estas nur vitra fenestro, ĉu ne?”

La sinjorino kapneis kaj diris: “Ni estas malriĉa kamparana familio. Tial nia domo ne povas havi oran fenestron. Vitro estas pli bona ol oro, ĉar ĝi heligas la ĉambron.”

Ŝi ridetante sidigis la knabon sur ŝtonan ŝtuparon, kaj alportis al li glason da lakto kaj panon.

La sinjorino alvokis la knabinon. Ŝi aspektis samaĝa kiel la knabo.

Ŝi kapjesis kaj diris al la knabino por ke ŝi ludu kun la knabo.

La sinjorino eniris en la domon kaj relaboris. Ŝiaj piedoj estis nudaj same kiel la knabo. Ambaŭ surmetis malhelbrunan kotonan jakon. Sed ŝia hararo estis bela orkolora kiel la brila fenestro, kiun la knabo ĉiam

vidis. Kaj ŝiaj okuloj estis klare lazuraj kiel la tagmeza ĉielo.

La knabino ridetante invitis la knabon kaj prezentis la bovon en sia domo. Ĝi estis nigra bovido kun blankstela makulo sur ĝia frunto. La knabo rakontis pri sia bovo tiel ruĝa kiel ŝelo de kaŝtano, kiu havas kvar blankajn piedojn. La knabino deŝiris pomon el apuda pomarbo kaj manĝis ĝin kun la knabo. Du geknaboj ege amikiĝis.

La knabo rakontis pri ora fenestro al la knabino.

La knabino diris:

“Jes, ankaŭ mi vidas ĝin ĉiutage. Tamen ĝi troviĝas aliflanke. Vi venis inversen. Venu ĉi tien. De ĉi tie ni povos vidi ĝin.”

La knabino akompanis la knabon sur iom altan lokon apud sia domo, kaj ŝi diris :

“Nur limigitan tempon oni povas vidi oran fenestron.”

La knabo konsentis:

“Jes, limigite. Ni povas vidi ĝin kiam la suno subiras.”

Li mire diris :

“Mi reiru hejmen.”

Kaj li donis al la knabino la blankan kaj belan ŝtoneton, kiu havas ruĝan linion. Li trezore tenis ĝin en sia poŝo dum jaro.



Plie li donis al ŝi tri hipokaŝtanojn. Unu estas ruĝa kaj glata kiel veluro, unu estas makulhava, kaj la alia estas blanka kiel lakto. Poste, dirante ke li denove venos li rapide kuris hejmen. La knabino mire forvidis lin haste kuranta hejmen. Starante je la vespera suno, ŝi rigardis lin dum longa tempo.

La knabo senripoze kuris kaj kuris longan vojon al sia domo.

Kiam li alvenis al la domo jam mallumiĝis.

Li vidis flavan lumon de lampo kaj ruĝan fajron de forno tra la fenestro de la domo.

Tiuj brilis bele tiel same kiel li vidis de sur la monteto.

La knabo malfermis la pordon kaj eniris en la domon.

La patrino stariĝis kaj bonvenigis lin interfrotante vangon per vango.
Ankaŭ lia fratineto alkuris al li.

La patro ridetis sidante apud la forno.

La patrino demandis lin: “Kien vi iris hodiaŭ? Ĉu vi amuziĝis?”

“Jes, mi tre amuziĝis.” la knabo respondis ĝoje.

La patro demandis lin: “Ĉu vi lernis bonan aferon?”

La knabo respondis: “Mi lernis, ke ankaŭ nia domo havas orajn fenestrojn.”

(FINO)

*Noto: Ĉoo (町) estas unuo de distanco. Unu ĉoo egalas al 109 metroj.

Dum la pandemio de kronviruso ni ekkunsidas antaŭ niaj komputiloj per zoomo, kaj kunlaboras traduki malnovan rakonton.

Ĉi tie ni prezentas unu el nia tradukaĵoj.

Virina klubo (Emi, Ĵunko, Mikiko, Taeko, Tatuko, Tieko,
Terumi, Tomoko, Yoko,)

2021,9,30

「岡の家」は、「赤い鳥」の創始者、鈴木三重吉の童話です。

Virina Klubo は、広域（徳島、愛媛、広島、山口、福岡、熊本）の女性エスペランティストの集まりです。毎週土曜日に午後 8 時から 1 時間、Zoom で会合を行い、童話のエスペラント訳、エスペラント電子紙芝居などに挑戦されてきました。1 年半の間に、電子紙芝居 3 点、童話翻訳 1 点、朗読劇（未完）の成果があったとのこと。童話翻訳がこの「岡の家」です。

（編集部）

<< 編集後記 >>

本号は、RH運動に関係された300人以上に郵送しています。このうち、107人は2020年RH維持会費をすでに納入済みです。

本号では、第108日本エスペラント大会を中心に、最近のエスペラント運動を紹介しています。

今号の記事は14件と多いのですが、活動報告を中心としたため、エスペラント文は1件のみとなりました。

★ 次号発行日

2022年10月を予定しています。2022年9月末までに原稿を編集部（下記の森川）宛てお送りください。

★ 本誌PDFファイルの保管場所

PDFファイルをダウンロードできます。

arkivo harmonio

検索

Arkivo de La Harmonio

http://esperanto.jp/arkivo_harmonio.html

La Harmonio 248号 2021年10月20日発行
編集発行 Rondo Harmonia（国際語教育協議会）

* 組織委員会書記局・La Harmonio編集部・財務担当
〒618-0071 京都府乙訓郡大山崎町大山崎尻江13-8 森川和徳
電子メール kz_morikawa@yahoo.co.jp

* ウェブサイト <http://esperanto.jp>

* RH会費（会計年度 1月1日から12月31日まで）

◇ RH会員お一人の場合
維持会費 年 600円

◇ ご夫婦ともRH会員の場合
維持会費+家族会費 年 900円（600円+300円）

* 会費払込先

振替口座 01050-3-11902 加入者名「国際語教育協議会」
楽天銀行 マーチ支店 普通預金 3302340 「森川和徳」